あじさい３組　自立活動　「まあいっか　名人になろう」

段階	学習活動・予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿	配時
導入	1　前時の振り返りをし、本時のめあてをつかむ。 ○　前時に取り組んだ、気持ち切り替えチケットを振り返る。本時につながる動画を見る。 自分にぴったりの　気持ち切り替え方法を見つけよう。	○　教師による動画（ゲームに負けそうでイライラし、気持ちの切り替えができたとき、できなかったとき）を見ることで、本時のゴールを確かめることができた。	5
展開	2　ゲームに負けそうでイライラしているときの自分の気持ち切り替えチケットを選ぶ。 ○　自分の課題に応じて気持ち切り替えチケットを選ぶ。 3　ゲームに取り組み、チケットを使ってみながら、自分に合った方法を見つける。 ・　時間制限や先生チームとの対抗戦という場面を設定しゲームに取り組む。（３分間で音が鳴る合計数を競う） **【方法選択】（自分に合った方法を選ぶ）** 根拠：リラックスタイムが好き／おしゃべりが好き／一旦やめると回復する／体を動かすことが好き／一人になる事が落ち着くことができる／紙を破るとすっきりする 方法：リラックスルームへ行く／まわりの友達と話す／友達の活動を見守る／体操をする、散歩をする／日向ぼっこをする／いらない紙を破る **【個別と協働の一体的充実】** ・　一回戦を終えて自分の気持ち切り替えチケット（方法）に取り組む。どのチケットを使ったか友達に話す。 ・　二回戦を終えて、気持ち切り替えチケット（方法）を選び直して使う。どのチケットを使ったか友達に話す。 ○　選んだ方法をやってみて自分に合う方法だったか話す。友達の方法を聞いて他の物も試してみようとする。	○　自分の学習方法をチケットという可視化した形にすることで、とらえやすくできた。また、選択肢を黒板に貼ることで、自分が取り組んだチケット以外のリラックス方法も知ることができた。 （資料１） ○他のチケットを使う友達の姿を見て「あれも試してみたいな」「切り替えの方法はたくさんある方が良いよね」と前向きな姿が見られた。 活動の中で実際に選んだチケットを使い、切り替えができた後、次の活動に向かう姿が見られた。	10 25 5
終末	4　学習をまとめ、振り返る。 ○　振り返りシートに書く。 自分に合った方法を見つけると、イライラせずに、まあいっかと思うことができる。 ・　自分の気持ち切り替えチケットを選ぶことができた。 ・　これから友達の選んだチケットもやってみたいと思いました。 ・　もっと切り替え方法を試してみて、イライラしている時間を少なくしていきたい。 ・　イライラしたときに、チケットのことを思いだして切り替えてみたい。	○　活動の中で、自分に合う切り替え方法を見つけて、実践し、前向きな気持ちで次に向かおうとする姿がみられた。	

○　友達が選んだ方法を積極的に試して、気持ちの切り替えをしようとする姿が見られた。

○　自分の気持ち切り替え方法をたくさん増やそうと前向きにする姿が見られた。

△　ゲームがうまくいかず、イライラしてチケットを試しても作業に戻ることができない児童がいた。

△　イライラしない児童や、途中でゲーム自体を投げ出してしまう児童がいた。